



# 議会だより なよろ



増刊号

令和5年10月1日発行

令和5年7月10日～14日実施

## 市民との意見交換会 報告



智恵文多目的研修センター

名寄市民文化センター



名寄市議会  
ホームページ

も	◎ 議長あいさつ・市民との意見交換会実施状況	2
く	◎ 各会場からいただいたご意見	3～9
じ	◎ 令和5年度「市民との意見交換会」アンケート結果	10

## 市民との意見交換会を終えて



名寄市議会議長 山田 典幸

市民との意見交換会を終えて、一言ご挨拶を申し上げます。

名寄市議会では、議会基本条例に基づき市民への説明責任と、市民意見を聴取して議会活動に活かすことを目的に、毎年2回市民との意見交換会を実施しております。

今回の意見交換会は、改選後初の開催ということもあり、議員を2班に分け、市内4会場において実施いたしました。

意見交換会には、4会場合わせて61人の市民の方に参加していただき、市政全般に関わる意見や要望をはじめ、議会に対する提言などもいただきました。改めてご参加いただいた皆様に心からお礼を申し上げますとともに、いただいた意見・要望などを真摯に受け止め今後の議会活動に活かしてまいります。

今回の改選より、議員定数を18名から2名削減の16名として、本年4月に市議会議員選挙が実施されましたが、残念ながら無競争という結果になりました。様々な要因が考えられますが、このことを重く受け止め、私たち議員・議会が何をすべきかをしっかりと考えていかなければならないことから、第2回定例会において議会活性化特別委員会を設置いたしました。議会の活性化に向けて行政監視や政策立案の機能を拡充し、特に女性や若年層が議員活動に積極的に参加できる体制を構築し、議員力・議会力の向上を図ることを目的とし、より市民に身近で市民に関心を持たれる魅力のある議会を目指し、全議員一丸となって取り組んでいく所存です。

今後も市民の皆さんとの意見交換や対話の機会を積極的に作っていきたくと考えておりますので、引き続き私どもに対し多くの意見をいただきご指導くださいますようお願い申し上げます。

## 市民との意見交換会 実施状況

今回の意見交換会では、議会報告として定例会・臨時会の審議概要、各常任委員会の構成・所管、政務活動費などについて説明させていただきました。

なお、記載されている内容は、7月10日から14日の「市民との意見交換会」でいただいた意見などを一部抜粋しているものであり、1か月以上が経過しているため、現状に合わない意見などもあることをご承知おきください。

### A 班

- 班長**  
・山田 典幸 (議長)
- 班員**  
・高野 美枝子 (議会運営委員会副委員長  
総務文教常任委員会副委員長)
- ・高橋 伸典 (市民福祉常任委員会委員長)
  - ・清水 一夫 (経済建設常任委員会副委員長)
  - ・佐藤 靖 (市民福祉常任委員会委員)
  - ・富岡 達彦 (市民福祉常任委員会委員)
  - ・水間 健詞 (経済建設常任委員会委員)
  - ・中 畠 孝幸 (総務文教常任委員会委員)

担当会場：智恵文多目的研修センター 10人  
駅前交流プラザ「よろーな」 10人

### B 班

- 班長**  
・倉澤 宏 (副議長、経済建設常任委員会委員)
- 班員**  
・遠藤 隆男 (議会運営委員会委員長  
総務文教常任委員会委員)
- ・東川 孝義 (総務文教常任委員会委員長)
  - ・山崎 真由美 (経済建設常任委員会委員長)
  - ・今村 芳彦 (市民福祉常任委員会副委員長)
  - ・東 千春 (経済建設常任委員会委員)
  - ・川村 幸栄 (総務文教常任委員会委員)
  - ・谷 聡 (市民福祉常任委員会委員)

担当会場：名寄市民文化センター 15人  
ふうれん地域交流センター 26人

## ◇各会場からいただいたご意見◇

7月10日(月) 智恵文多目的研修センター 参加者 10人

### ◆電子地域通貨について

**問** 電子地域通貨を開始するということが、皆に使ってもらえるような素敵な見通しがあるの事業なのか。

**答** 商工会議所や商工会などが中心となって加盟店を集めたり、いろいろ検討している。市も地域活性化企業人を活用し進めている。いろいろな面で地域でお金を回せるような状況にしていきたい。

### ◆保育所の統合について

**問** 認定こども園が建設中だが、将来的に保育所の統合はあるのか。智恵文地区にも子どもがいるので、智恵文地区の保育所は存続してほしい。

**答** 今のところ智恵文保育所の統合の話は出ていない。

### ◆国道40号の草刈りについて

**問** 国道40号の草刈りが遅い。熊の出没もあるので早急に対応してほしい

**答** 国は予算の関係で進まないのかもしれない。市民の方から北海道開発局に直接連絡をしていただいた方が良いと思う。

### ◆屋内施設の設置について

**問** 冬場、屋内でサバイバルゲームを楽しめる施設がほしい。屋内であれば市外からも人が集まると思う。

**答** 要望があったことは担当部署に伝える。

### ◆熊対策について

**問** 猟友会は若い人が少なくなっていると思う。通学する子どもたちの安全確保を考えると、黄色い看板の設置のほか何か対策はないか。

**答** 猟友会も高齢化だったり辞められる方がいるが、後の世代がいない。市単独では難しい部分もあり、北海道でのヒグマ対策など根本的な対策が必要になってくると思う。地域からの意見として担当部署に伝え、引き続き対策を取っていくよう申し伝える。

### ◆災害対策について

**問** 八幡地区、智北地区の下の方だが、土砂災害の対策ができていないと思う。智恵文地区だけではないのは承知しているが、できるところから進めてほしい。

**答** 災害避難については対応マニュアルもできているし、市でも防災情報が伝達する段取りになっている。

**要望** めいぎょ 明渠排水の整備等は地元の人たちで対応しているが、排水機が老朽化しているので定期的に確認して直すところは直してほしい。

### ◆災害時の対応について

**問** 先日、智恵文の一部地域で停電となった。酸素ボンベを使用している高齢者がいたが、個人情報保護のため停電情報が伝わらなかった。緊急時に対応できるようにしてほしい。

**答** 計画停電情報については北電のことなので言えないが、災害時には個人情報を提供することができる場合がある。自然災害時の行政支援は難しいので、地域住民の方のご協力をお願いしたい。



7月12日(水) 駅前交流プラザよろーな 参加者 10人

◆無投票選挙について

- 問** 今回の市議選について、無投票に至る要因について聞きたい。
- 答** 若い方のなり手不足は全道、全国の地方議会の大きな課題だが、やはり議会活動が市民の皆さん、特に若年層に見えていない。我々の活動が魅力的に感じられていないのも要因の一つだと思う。議会活性化特別委員会を設置したので、情報開示をしっかりとし、何が要因なのかを検証する。

◆宗谷本線の存続について

- 問** 個人的には宗谷本線存続の可能性はないと思っている。バス転換ならどうやればできるか、バイパスが繋がれば路線はいるのか等、そういう議論をする時期に来ているとを感じる。そういう意見があっても良いと思う。
- 答** いろいろな考え方があると思うが、宗谷本線を残していく方向で、宗谷本線活性化協議会、沿線自治体が連携し協議しながら進んでいる。そういう意見があったことは伝える。

◆歩道の段差について

- 問** 歩道や車庫前の段差や傾斜が歩きづらいし、雪が降ると固まる。これについて市は許可しているのか。
- 答** 車庫前の傾斜部分の許可については、対処法があるのかも含めて確認する。

市  
の  
回  
答

道路構造令に基づきガイドラインを設け、施工を許可している。従前は縁石の上面まで舗装する形式が基本だったが、交通バリアフリー法施行以降は、縁石の上面から下げて舗装を施工する形式になり、傾斜の急な歩道はなくなっている。歩道の傾斜を改善するには、勾配を緩くする歩道工事が必要。多くの予算を伴うため改修の計画はないが、新規や再整備の路線は段差や傾斜の少ない整備に努める。

◆人口減少について

- 問** 人口減少により働く人がいなくなると、まちの活性化がなくなり限界集落のようになる。今後議会の場で、市はどのように考えていくのか話をしてもらえると、議会も行政もきちんと考えているんだと市民の安心感に繋がる。
- 答** 将来の名寄市のあり方をみただ中で、人口減の対応、人手不足、高齢者が地域でできることなど俎上に上げて議論していきたい。

◆意見交換会の参加者減について

- 問** なぜ今回の意見交換会の参加者が激減したのか。市民の意識、問題意識が低いのか、それとも議会に対する期待値が低いのか。
- 答** 本議会に対する市民の関心バロメーターであると改めて認識している。意見交換会のあり方、周知を含め検証したい。もっと市民の皆さんに関心を持っていただく活動に取り組んでいく。

◆まちづくりについて

- 問** 図書館をどこに建てるかいろいろ検討されているようだが、まちづくりについて議会の中では勉強会など行っているのか。
- 答** 当時の総務文教常任委員会では先進事例を視察し、実際話を聞いたり見てきたりした。それを委員会の中で整理し、単体ではなく人が集まる仕掛けとし、民間活力も利用した複合施設が望ましいと協議し、提言した経緯がある。

◆会計年度任用職員について

- 問** 何十年も働いている臨時職員（会計年度任用職員）がいる。ある程度任期を決めて、若い人ばかりではなく元気の良い高齢者がいることも考えて、いろんな人が働けるようにしてほしい。
- 答** 職員の採用に関して議員は不介入。議会基本条例で定められているのでご理解いただきたい。要望があったことは伝える。

◆インバウンド需要の取り込みについて

問 雪質日本一を謳<sup>うた</sup>っている名寄ピヤシリスキー場に、インバウンドを取り込めないものか。ジップラインというアウトドアアクティビティがあるが、夏のピヤシリスキー場でできないか。

答 インバウンドを呼び込むため SNS での発信、各スキー場と連携した共通チケットの販売等取り組みは行っており、今シーズンは外国人の姿が目立った。夏場についてはヒルクライムやサバイバルゲームなどイベントを行っている。ジップラインについての意見は市に伝える。

◆道路への雪出しについて

問 以前、道路への雪出しについて一般質問をしていたが、市の回答は違反の事実を証明するには証拠が必要だと言っていた。スマートフォンやデジタルカメラで撮影し、LINEやメールを市に送れば証拠は残る。市は対応しようと思えばできるはず。

答 関係部署は当然認識していると思うが、意見・提言として伝える。



7月13日(木) 名寄市民文化センター 参加者 15人

◆道立高校の跡地について

問 道立高校だから名寄市としてはあまり言えないだろうが、名寄産業高等学校、名寄農業高等学校の跡地活用について、名寄市としての意見や提案をきちんとしていく必要があるのでは。議会としても研鑽<sup>けんさん</sup>を深めて提言してほしい。

答 道立高校なのでなかなか難しいが、名寄市ではどうなのか、という提言はしっかりとしていく必要がある。

◆一般質問について

問 6月の定例会で、議員16人のうち一般質問をされたのは8人。全員に一般質問をする権利があると思うが、会派での人数制限があるのか。

答 会派の中で質問内容が重複しないような調整はするが、人数制限はない。

◆ピヤシリスキー場の宣伝について

問 名寄市は雪質日本一を謳<sup>うた</sup>っておきながら、宣伝をしているように感じない。SNS等を活用して宣伝したら集客になると思う。

答 スマートゲートを導入したので、国内外インバウンドを含めてPRしていく必要があると認識している。

◆駅前商店街について

問 駅前商店街の店舗が減少しているが、このままだと困るのは高齢者。買い物難民になる可能性が出てくる。

答 高齢者の買い物手段としての商店街の役割は十分認識している。各個店で工夫をしながら魅力ある店づくり、また市では中心市街地における商店街への補助、商工業者への助成制度を持っているので、今後も商店街の活性化に向けた取り組みについては議会としても議論をしていきたい。

◆コンビニエンスストアでの証明書取得について

問 戸籍証明書や印鑑証明書をコンビニエンスストアで取得しようとしたら、名寄市では行っていないから、市役所で取得するよう言われた。今後、コンビニエンスストアで取得できるようになるのか、行政に確認してほしい。

答 確認して回答する。

市の回答 現在、導入について検討している。

◆スマートゲートの導入について

問 ピヤシリスキー場にスマートゲートを導入すると聞いた。人件費が浮いてもメンテナンスに費用がかかると思うが、市からどのような説明があって議会として承認したのか。

答 導入にあたっての質疑等は行っていないが、導入のメリットに着目し判断した。

◆空き家対策について

**問** 空き家になって転居する時に市が話をしたり、関係業者や家を必要とする方に空き家のリフォーム金額がいくらになるのか等、市だけではなく議員の方々も建設関係や工務店、いろんな機関の方と話し合って情報収集や情報提供をするなどして取り組んでほしい。

**答** 空き家になった後、連絡がつかないのが実態。転居される際に、相続人の方に今後の建物の取り扱いについて相談窓口を設置する等、システム的に整備していく必要がある。まずは空き家を作らないのが第一歩だと考える。先進地の事例、取り組みを参考にしながら行政にも提言していきたい。

◆議会だよりについて

**問** 構成上大変かもしれないが、市の広報と議会だよりで、左綴じ、右綴じ、縦書き、横書きと統一されていない。統一することは可能か。

**答** 市の広報と議会だよりの統一は別な議論となる。議会だよりの構成については、今後他の自治体の取り組みを視察させていただき、検討していきたいと思う。

**問** 市広報や議会だよりでは、カタカナ文字が増えていて意味が分からない。括弧書きをしてほしい。

**答** 議会だよりでは極力カタカナや難しい言葉は使用しないように編集しているつもりだが、今後もお気づきの点があればご指摘いただきたい。

◆中心市街地の活性化について

**問** 中心市街地の活性化なくして公共施設を中心市街地へもっていくという発想はどうか。商店街の後継者問題、再開発事業の取り組みなどを検討し、中心市街地の活性化と合わせた議論をしていかないと、市民に理解されないのでは。議会としてデータを集めて、それに対する一般質問を期待したい。

**答** 今、都市計画マスタープランの中で、都市機能誘導区域、居住誘導区域と区域設定がされ進められている。今後、公共施設を作っていく中で人口問題もあり、延べ床面積を13%削減し、いろいろな形のものも検討されていくと思う。議会としても公共施設と合わせてまちづくりをどのようにしていくのかを含め、先進地のデータを集めながら、しっかりと提言していきたい。

◆議会及び議員の役割と権利について

**問** 市長は執行権があり、議会は議決権がある。要は議会には執行権はないが、執行者に対して執行をさせる権利がある。議会意思として執行をさせていく提言をしなければ、意見交換会の意味がない。議会及び議員の皆さんの役割と権利をどのように押さえているのか聞きたい。

**答** 議会としてあるいは議員として、行政監視や政策立案を目標にしながら、また若年層や女性が議員活動に参加できる体制についてどのようなことが必要なのかも含め、議会活性化特別委員会の取り組みの中で議論を深め、活動を進めていきたい。



◆駅前広告塔について

**問** 駅前広告塔の時計と温度計が用をなしていない。名寄市のシンボルとして何とかならないのか。

**答** 電光掲示板については、当時の部品がなく整備を見送ってきた経過がある。温度計については対応が可能かどうか担当部署に確認する。

**市  
の  
回  
答** 天気と気温表示部分の修繕に600万円を超える費用がかかる。今後の対応については観光まちづくり協会とも協議し、検討している。



◆次期中間処理施設整備について

**問** 人口が減少する中で、この事業は推進していけるのか。他の町村も人口減少が顕著になっていく中で、名寄市がこの部分を負担していくのか。

**答** 名寄市、下川町、美深町、音威子府村の4市町村の自治体で構成されている名寄地区衛生施設事務組合の事業となるが、現状の設備は非常に老朽化している。それにかかる補償の問題、安全処理が課題の一つ。名寄地区広域最終処分場も当初の計画よりかなり処分量が上回っているため、次期中間処理施設に燃焼設備を導入し、名寄地区広域最終処分場に持っていくゴミを減らす。将来的なことを考えて、今の設備が止まると処理ができなくなる。構成市町村の中で理解をいただいて進めている。

7月14日(木) ふうれん地域交流センター 参加者26人

◆名寄市観光キャラクター「なよろう」について

**問** 名寄市の観光キャラクター「なよろう」をもっと有効活用し、名寄市の認知度向上に取り組む必要があるのではないかと。どんどん「なよろう」を発信するべきだ。

**答** スタート時と比較すると、運用不足の面はある。名寄のシンボルとして活用することは非常に大切なこと。今後の中でしっかりと対応していきたい。

◆コロナウイルス感染状況について

**問** 他の市では学校祭をきっかけにコロナウイルス感染者が増えていると報道があった。市内でも大学や高校で学校祭が実施されたが、感染状況の情報はあつたのか。

**答** 2類から5類に変わったとき、コロナウイルス感染症の扱いが変更になり、報告がなく把握できていないが、感染拡大の情報は今のところ伝わってきていない。

◆不登校児童生徒への取り組みについて

**問** 不登校児童生徒の対応として、別室で児童のニーズに合った取り組みや遠隔授業、校内体制の強化や相談体制の強化、スクールソーシャルワーカーと連携をして進めているとのことだが、保護者への対応は月1回程度と聞いている。現場でどうなっているのかを追及してほしい。議員として相談の場面に同席するなどの取り組みはあるのか。

**答** 不登校児童は増加している。心の教室相談員も配置され、教育相談センターほっと21でも対応している。議員が保護者との相談の場面に入るとは必ずしも良いことには繋がらないと考えているが、地域の一人として一緒に取り組みを進めていくような人間関係が構築されていく中で、必要であれば相談を受けさせていただき、様々な意見をいただきながら取り組む。

◆名寄市立大学生に対する支援について

**問** 学生の居住が地域の活性化に繋がると感じている。学生に対する支援として、居住やバス、買い物の優待など、名寄市に住んで良かったと心に残る施策展開が必要ではないか。

**答** 学生が衣食住を含め、名寄で使うお金が年間9億円ほどの経済効果がある。また、ボランティア活動やアルバイト活動を通じて名寄市へ大きな貢献をしている。名寄市に住んで良かった、と次に繋いでいただけるようなアプローチはしっかりしていきたいと考えている。

◆福祉団体のサバイバルゲームの開催について

**問** 障がい者を呼び込んで「バリアフリーサバイルゲーム体験」がサンピラー温泉駐車場の横で開催されるようである。社会福祉協議会の関与や名寄市の土地を利用して模擬戦争のような遊びを行うことは、名寄市の非核平和都市宣言において適当とは言えないのではないか。

**答** サバイバルゲームは観光庁の補助事業を活用し、なよろ観光まちづくり協会が主体的に取り組んでおり、ふうれん望湖台自然公園では新団体が定例会的に行っている。当該催しについてはそれぞれいろんな考えがあり、議会として統一した見解は難しいと考えているが、関係団体とのやり取りの中で企画の計画も含め、モデル事業なのか、継続的にやっていくものなのかも含めて確認をしたい。

**市の回答** 障がいなどに関わらない多様な方々の参加による参加者同士の交流、障がい理解の促進を目的に実施。車いすユーザーの意見を伺い、一定のニーズがあることと開催目的との一致が確認できたことから、参加者同士のサポートによりバリアフリーで行うこととなった。次年度の開催については、現段階では未定。

◆公共施設の利用料について

**問** 老人クラブとして公共施設を利用しているが、利用料の負担が大きい。何か特別な免除はないか。

**答** 公共施設の利用料は条例によって定められており、社会教育団体や老人クラブは5割減免で最大の割引料となっている。

◆市営住宅の空き部屋について

**問** 西町団地や北斗団地など空き部屋が多い。改修を行い、居住させて家賃を得るべきではないか。

**答** 次の入居に向けた準備、また公募をかけているがそのタイミングでの入居希望者が少ないといった状況。委員会で検討したい。

◆タブレット端末の運用について

**問** GIGAスクール構想で導入したタブレット端末だが、処理速度が遅く子ども達から不満の声が上がっている。運用面が追い付いていないので、精査してほしい。

**答** 委員会の中で確認し、回答させていただく。

**市の回答** GIGA スクール構想の前からネットワーク環境が整備されていた名寄南小学校と風連中学校は、一部環境が不安定・処理速度の遅延など問題があり、夏休み期間中に改修工事を行った。

◆公共施設利用者数の制限について

**問** コロナウイルス感染拡大時に公共施設利用者数の制限がかかったが、現状はどうなっているのか。制限解除の市民周知が不足しているのではないか。

**答** 市としては制限をかけていないと考える。周知をしている場合もあると思うが、担当部署に確認する。

**市の回答** 現在、公共施設の利用制限は行っていない。人数制限等は各利用施設へ確認していただくよう、市ホームページ等をお願いしていた。

◆風連地区の排雪について

**問** 合併後、風連での排雪の回数が増えとなり、幹線道路3回、生活道路2回行っている。昨年12月の大雪で通学する小学生が道路の真ん中を歩いているなどの状況が見受けられた。排雪回数を見直すべきではないか。

**答** 除排雪に関しては毎年多くの意見が寄せられている。その都度危険度を判断して担当者も対応している。除排雪は業者も交えて計画をしており、予算もあり難しい課題だが、委員会の中でも確認していく。

◆マイナンバーカードの運用について

**問** マイナンバーカードの運用ミスが報道されており返納者も多いと聞く。名寄市ではトラブルがないと聞いているが、個人情報の漏洩や詐欺事件の可能性も心配で不安だ。国に言うことだとは思いますが、マイナンバー制度を見直すべきだと思う。名寄市議会としてどのように考えているのか。

**答** 国の制度であり、デジタル化が進む中でしっかりと進めていけば問題はないと思うが、使用者が安心して利用できる運用を求め、意見書の提出で対応したい。

◆地域公共交通について

**問** 農村部の交通の便が悪く、お年寄りの足の確保が難しくなっている。AI活用型オンデマンド交通の導入について説明があったが、10月からの実証実験開始にあたり、これがずっと続いていくのか。農村部にも当然普及しなければならないことだと思っているが、玄関から玄関までの交通が求められる。議会としてもそのことを含めて進めてほしい。

**答** 10月からテスト的にAI活用型オンデマンド交通が運行される。農村部も含め、どのような形になっていくのかをしっかりと行政と話をしていく。



8月8日 実施報告会を開催、議員間で情報共有を図る

ご参加いただいた皆さんからは、議会運営に対する意見をはじめ、地域課題など多くの質問・意見・要望などをいただきました。

全議員による実施報告会を開催し、議員間の情報共有および共通認識を図り、今後の議会活動に活かしてまいります。



8月10日 市長に実施報告書を提出

皆さんからいただいた質問・意見・要望などについては、正副議長と議会運営委員会正副委員長で内容を精査し、市長に「市民との意見交換会」実施報告書として提出いたしました。議会としても提言・要望等として各所管にも周知・対応等についてご検討いただくようお願いしました。



## 令和5年度「市民との意見交換会」アンケート結果

※回答内容につきましては、紙面の都合上、自由記載を中心に記載しております。

### 問 あなたの年齢は？

- ①10代(0人) ②20代(0人) ③30代(3人) ④40代(3人) ⑤50代(8人)  
⑥60代(12人) ⑦70代以上(18人) ⑧80代以上(11人) 未回答(0人)

### 問 あなたの性別は？

- 男(45人) 女(9人) 未回答(1人)

### ※今後、市民との意見交換会について改善すべきことがあればお書きください。

- ▶発言の時間は一人当たりの時間を決め、冗長にならないようにしたほうがよい。
- ▶文化センターでは、今までは昼が多いので夜があってもよい。
- ▶お互いに意見交換ができていたと思う。
- ▶報告内容が短すぎてわかりづらかったので、もう少し詳しく話してほしい。
- ▶議員と参加者の距離を近くして、話しやすくしたほうがよい。
- ▶全議員が出席してやってほしい。
- ▶最初から予定時刻を設定しないほうがよいと思う。
- ▶市民の発言が長すぎて多くの意見が聞きたかった。
- ▶発言は短く、答弁も短くわかりやすくしてほしい。
- ▶対座の方式は悪いと思わないが、参加者間の共有できる雰囲気があればいいと思った。車座とかはどうか。
- ▶若い人が多数参加して意見を発言できる環境整備が必要だと思う。
- ▶議員が本当に市民の意見を聞いているのか疑問だ。毎年実施しているのであれば良くなっているのではないか。困っているのは市民なので市民の生活を考えてほしい。
- ▶年寄だと補助支援やお金が必要との意見になってしまいう聞きづらい。

### 問 議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

- ▶議会中継をYouTubeで見られるのはいいが、もっと高画質で視聴したい。240Pでは見るのも聞くのもつらい。
- ▶駅前の活性化をお願いしたい。
- ▶一般質問に対する市の回答にもう少し突っ込んでの再質問が必要だと思う。再質問は法律や条例との整合性等を掘り下げたいと思う。
- ▶若い人達が自分も議員になって将来の名寄を築いていこうと思えるような魅力ある活動をしてほしい。
- ▶市民の生活に寄り添った議会、議員であってほしい。
- ▶無投票であっても選良だ。活躍を期待している。
- ▶党派を超えて市政に対応してほしい。市長の応援団だけはやめてほしい。
- ▶市民のために一生懸命の活動をお願いしたい。名寄市発展のために期待している。